

伝えたい

まちの遺産

特務艦「関東」の遭難

吹雪の夜の温かい人間愛

河野地区の糠、海岸道路に面した公園に、高さ約3.6メートルの慰霊碑が建っています。ひととき目を引くこの慰霊碑には、かつてこの近くの海で遭難した日本海軍の特務艦と村の婦人たちにまつわる哀しくも温かい人間愛の物語が刻まれています。

明治33年デンマーク生まれ。ロシアの輸送船を経て日本海軍所属となった特務艦「関東」は、任務で山口県徳山港から京都府舞鶴港へ向かう途中激しい吹雪に遭い、進路を見失いました。嵐の海を彷徨うあいだに入港予定であった舞鶴港は通り過ぎ、気づいた時には越前海岸糠浦の岩礁が目の前に迫っていたといいます。進路を変更するも時すでに遅し。そのまま突き進んだ「関東」は、不気味な轟音とともに泡立つ岩礁に衝突し、傾いたまま動かなくなりました。大正13年12月12日、午前8時5分のことでした。

座礁した「関東」を最初に見つけたのは、近くの集落に住む登校途中の小学生でした。彼らは慌てて来た道に戻り、集落の大人たちに自分たちの見てきたことを伝えます。しかしながら、冬の集落ではほとんどの男たちが杜氏に出ていて不在であったため、留守を預かっていた女たちが救助の中心となりました。

沈みゆく「関東」から逃げ出し、荒れ狂う極寒の海を泳いできた凍える兵士を浜に引き上げ、自らの肌で温めて蘇生させる。そこには人前で裸になることへの羞恥心はなく、

「消えゆく生命を何とか救いたい」「彼女たちの心には、その一念のみがあったのです。」



▲遭難した特務艦「関東」

このような方たちの献身的な看護によって救われた兵士は、30余名。その陰で、どうしても生き返らずに亡くなっていく兵士も数多くいました。自分の息子のような年齢の若い兵士の生命が失われていくのを見て、女たちは助けられないことを涙を流して悔しがったそうです。

あの日から80年以上が過ぎ、特務艦「関東」の遭難事故はもう遠い過去の出来事となりました。遭難現場に駆けつけて救助にあたった人たちは、もう誰も居られません。当時を知る人はいなくなりましたが、殺人事件のニュースが氾濫する殺伐とした現代だからこそ、このような心温まる逸話を歴史の影に埋もれさせることなく後世に語り伝えていく必要があるのではないのでしょうか。

遭難事故が起こった次の年、糠区の通称「エーベスト山」の中腹に慰霊碑が建てられました。後年、その慰霊碑は遭難現場近くの海岸沿いに移され、新たに完成したレリーフとともに当時の惨状と婦人の愛を訪れる人に伝えていきます。そして、あの日97名の生命を呑み込んだ海を静かに見つめています。



▲慰霊碑とレリーフ

今年の夏はウォーターランドで健康づくり!



ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

8月9日(日)は納涼祭!

☆ステージイベント 参加団体募集!

芝生広場に面したプールのテラスでパフォーマンスをしませんか?参加無料。出演は1グループ30分以内です。

時間 午後6時~午後8時30分

募集団体数 3~4団体

募集内容 ダンス、コーラス、バンド演奏など

申込締切 7月20日(祝)

☆アクアスロン大会 参加者募集!

アクアスロンとは、スイム(水泳)とラン(長距離走)を組み合わせて合計タイムを競う競技です。

時間 午後5時~

実施種目 ジュニアの部(小6まで)

一般の部(中学生以上)

スイム1km・ラン3km

スイム1km・ラン3km

募集定員 各30名

参加料 ジュニア 5000円

一般 1,0000円

申込締切 7月31日(金)

※参加を希望する方は、所定の応募用紙に必要事項を記入して、ウォーターランド南条に提出してください。

夏期(7月1日~8月31日)営業のご案内

月曜日 午後1時~午後9時

火~金曜日 午前10時~午後9時

土・日・8月11日~16日

午前10時~午後6時